

びわぎん

環境保全・地域貢献 かわら版 2008



びわぎん緑と水の基金 助成事業

大津市松の実保育園保護者会
(大津市高砂町)
平成20年度助成事業
(保育園園庭にビオトープ造成)



●ビオトープとは：
生き物の生活空間のことを意味します。自然のすばらしさや生命のつながりについて学ぶ貴重な場所になっています。当行では、10年ほど前より学校等のビオトープ造りに助成しています。

Biwako Bank



環境先進企業として環境省が創設した

「エコ・ファースト」企業

に認定されました

エコ・ファーストの約束

1. 自らの環境負荷軽減を積極的に推進します。
2. 銀行業務として環境金融商品を積極的に推進します。
3. びわ湖を取り巻く自然環境の保全活動を積極的に支援します。



▲JR大津駅前看板



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

びわこ銀行は政府が呼びかける“チーム・マイナス6%”の趣旨に賛同し、温暖化防止のため「環境銀行」の取り組みをはじめさまざまな活動を行っています。



びわこ銀行
BiwakoBank

ごあいさつ

環境と経済の両立で
地元に役立つ「じぎん」づくり



びわこ銀行 頭取
やま だ おさむ

私どもびわこ銀行は、単なる「地方銀行」ではない「地域の銀行」という思いを込めた「じぎん」をキャッチフレーズに、地元のお役に立つ銀行を目指しております。

また、滋賀県は、日本一の琵琶湖を抱える土地柄から、とりわけ環境問題に対して関心が高く、さまざまな環境保全活動が盛り上がっています。そうしたなか、「環境」を銀行経営の中枢に取り込もうという企業文化が育まれてきました。全国金融機関に先駆けたクールビズの導入や琵琶湖一周に相当するサクラの植樹はその一例です。

それだけではなく、「私のチャレンジ宣言カード」で1人、1日、1kgのCO₂削減目標を宣言されたお客さまに対して当初金利を優遇する「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」や、当行がファンドの販売会社として受け取る信託報酬の一部から温室効果ガスの排出権を購入し、日本政府の口座に無償移転するという、地方銀行初となるカーボン・オフセットの仕組みを取り入れた投資信託「環境未来バランス・オープン（愛称：環境宣言）」発売など、「環境銀行」としての取り組みを充実させています。

また、平成20年7月には、業界トップランナー企業が環境保全活動をよりレベルアップさせることができるよう環境省が認定しているエコ・ファースト制度「エコ・ファーストの約束」を銀行業界として初めて公表しました。

引き続き「環境銀行」を柱としたビジネスモデルを発展させ、新商品や新サービスの開発に努めるとともに、銀行業務を通じた持続的な環境改善に取り組んでまいります。

「環境銀行」について

エコ定期預金 ～お預けいただくことで環境保全に貢献できます～

お預かりした預金残高に応じ、一定割合を環境保全活動に寄付する「エコ定期預金」を取り扱っています（平成18年10月より「エコ・クリスタル定期預金」を発売（平成19年9月30日終了）。平成19年9月より「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」を発売。間接的に地域の環境保全に取り組むことができる商品性を多くの人に評価していただき、残高を順調に伸ばしています。平成20年2月には、平成19年10月末の残高に基づき、608万円を銀行の負担で次の県内の環境保全5団体に寄付しました。

※「エコ・クリスタル定期預金」…琵琶湖（北湖）の透明度が1年間で改善されれば優遇金利を適用（取扱期間中の結果：5ヵ月改善、7ヵ月横ばいまたは悪化）

※「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」…詳しくは下記をご覧ください。

（財）滋賀県緑化推進会



サクラの植樹事業
昭和53年植樹
▲滋賀県緑化推進会（延命公園・東近江市）
贈呈式

淡海ネットワークセンター



自然環境保全活動
[山門水源の森「水源の森百選」(林野庁)]
(西浅井町)
▲ネットワークセンター
基金贈呈式

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター



地球温暖化防止啓発活動
(びわこエコカップ手島杯争奪学童野球大会)
[平成20年8月：皇子山球場にて]

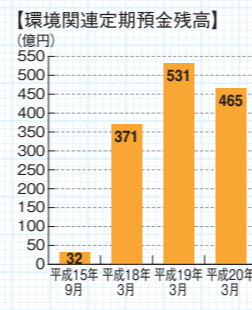
（財）びわぎん緑と水の基金



街路周辺にサツキヤツツジを植樹
(守山・美鈴自治会)

びわこCO₂ダイエット
事業への助成
当行の寄付により
運営しております。

この事業は、滋賀県内におけるCO₂排出削減をめざした普及啓発や温暖化防止につながる優れた実践事業に対して助成を行います。



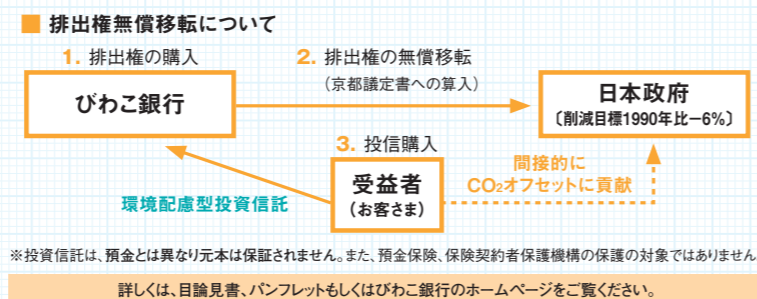
「環境銀行」トピックス ～常に新しい視点から商品、サービスを見直しています～

「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」発売中
チームマイナス6%「1人、1日、1kgのCO₂削減」
応援キャンペーン協賛商品

「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」は、「私のチャレンジ宣言カード」で1kg以上のCO₂削減目標を宣言されたお客さまに対して金利を優遇します。（さらに残高に応じて一定割合を銀行負担で県内環境保全団体へ寄付します）。

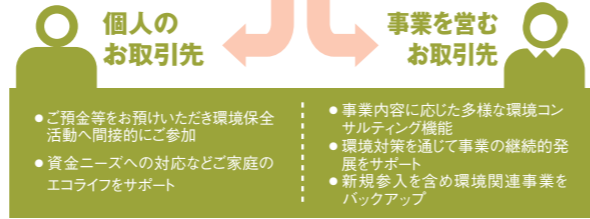


【環境配慮型】投資信託取り扱い開始（平成20年7月～）
《環境未来バランス・オープン（愛称：環境宣言）》：「CO₂を投資信託でオフセット」



「環境銀行」

「環境銀行」では、産業界の新しい分野として確立されつつある「環境関連事業」をご融資など銀行本来の業務を通じて支援していくと考えています。



行内組織により、効果的な機能が発揮できる運営体制としています。

- 環境関連事業委員会の設置
- 専門機関との提携

活動内容は四半期ごとに情報開示します。

- 環境部門を明確に区分することにより、ご理解いただきやすい事業報告を実施していきます。



環境先進企業として環境省が創設した
「エコ・ファースト」企業
に認定されました

環境省認定ロゴ

びわこ銀行は銀行のビジネスとして環境問題に取り組んでいます

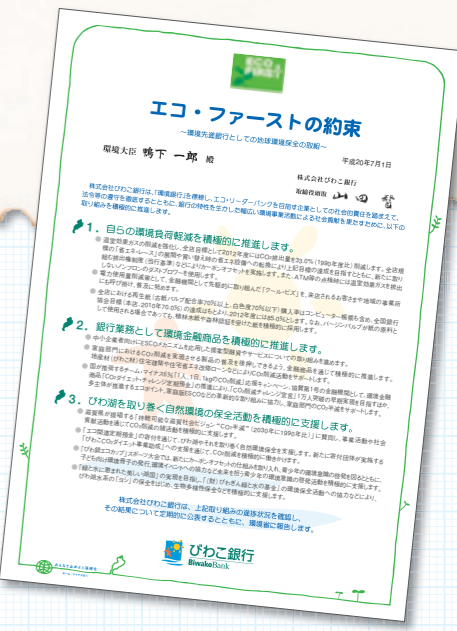
エコ・ファースト制度について

「エコ・ファースト制度」とは、業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくために、企業が環境大臣に対し、京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度のことを指します。自らの環境保全に関する取組を環境大臣に対して約束した企業に対して、使用認定に関する基準を遵守することを条件として、「エコ・ファースト・マーク」の使用が認められます。



平成20年7月1日、鴨下環境大臣（当時：写真左）に対して約束を宣言いたしました

※くわしくは、びわこ銀行ホームページに掲載



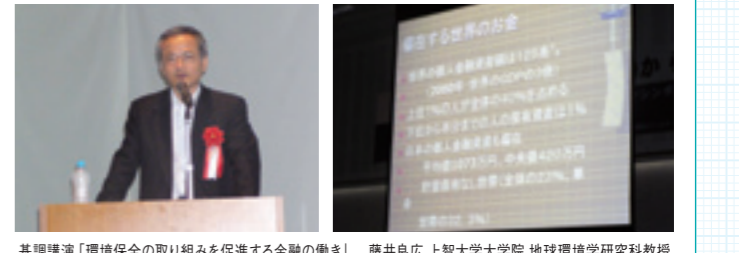
「環境銀行」を通じ各種啓発活動を実施

参議院「国際・地球温暖化問題に関する調査会」にて意見陳述



平成20年2月、頭取 山田 督が参議院「国際・地球温暖化問題に関する調査会」に参考人として招致され、「環境銀行」の取り組みについて意見陳述を行いました。

環境省と共催で「環境シンポジウム」を開催



基調講演「環境保全の取り組みを促進する金融の働き」 藤井良広 上智大学大学院 地球環境学研究科教授
平成19年6月 環境に配慮した「お金」の流れを拡大し、家庭における省エネなどを促進していくことについて、皆さまと一緒に考えるシンポジウムを環境省と共催で実施し、約250名のお客さまに参加いただきました。

エコ・サポートローン ISOサポートローン

信用保証協会と連携して環境資金をサポートします。

ISOをはじめ、各種環境規格の認証取得に要する資金に対応します。

BCP対応サポートローン

地震などの自然災害による被害を最小限にするための設備資金などに対応します。

「環境銀行」の決算を公表します

【「環境銀行」損益計算書】
～びわこ銀行の環境関連事業活動のみの報告書です～
(百万円)

	平成19年3月期	平成20年3月期
経常収益	666	638
資金運用収益	620	589
（うち貸出金利息）	(239)	(365)
（うち部門間運用利息）	(380)	(224)
役員取引等収益	0	0
その他業務収益	46	48
経常費用	531	583
資金調達費用	91	155
（うち預金利息）	(91)	(155)
役員取引等費用	64	92
その他業務費用	12	12
営業経費	363	322
経常利益	135	54

●役員取引等収益
投信窓徹手数料、コンサルティング手数料などが含まれます。

●役員取引等費用
ローンに伴う団体信用保証料が含まれます。

●部門間運用利息
過不足資金を運用する利息です。適用利率は「有価証券利回」を適用しています。

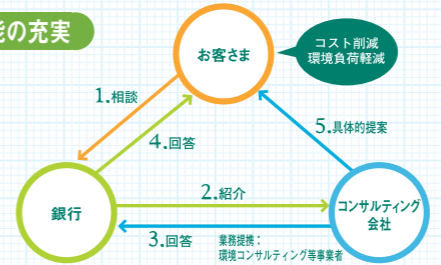
●その他業務収益
環境関連サービスによる収益が含まれます。

●その他業務費用
環境関連サービスの経費が算出されています。

●営業経費
ABC原価計算を用い、環境関連事業の経費を算出しています。

環境コンサルティング機能の充実

環境コンサルティング事業者と業務提携して省エネによるコスト削減やマネジメント改善を提供します。



環境サポートローン

3R（リデュース・リユース・リサイクル）をキーワードとしたビジネスシーン拡大に対応し、事業者向けに目的別の5プランを設定しています。

- クリーン設備プラン…… 大気汚染・水質汚濁を防止するための設備資金
- 省エネ設備プラン…… 省エネルギー対策のための設備資金
- リサイクル設備プラン…… 資源のリサイクルを行うための設備資金
- 土壌汚染改良プラン…… 土壌汚染の防止・改良のための設備資金
- 環境産業支援プラン…… 環境関連産業を営む事業者向けの設備資金

エコライフプラン

環境にやさしい住宅・マイカーのために3つのプランをご用意して優遇しています。

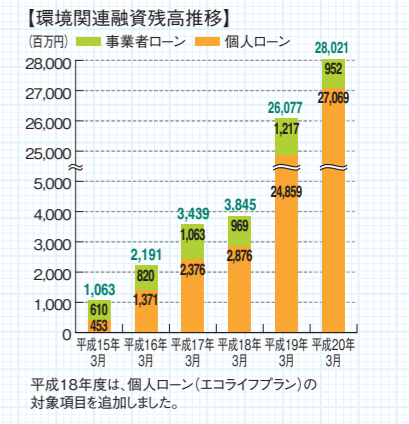
- 住宅ローン…… 環境配慮型の住宅を建築するための資金
- リフォームローン…… 自宅に環境配慮型設備を設置するための資金
- オートローン…… 低公害車を購入するための資金

環境コベナンツ付融資

企業の環境目的の達成状況により適用利率を変更する新しいタイプのご融資です。例えば、新しい省エネ設備を導入した場合、後に成果が出れば、ご融資利率を優遇するという特約を交わします。地域金融機関として、ご融資がどのように使われ、生かされているかを検証する機能を重視しています。



環境コベナンツ融資取り組み企業と勉強会を開催



方針・目的・目標

びわこ銀行環境方針

【基本理念】

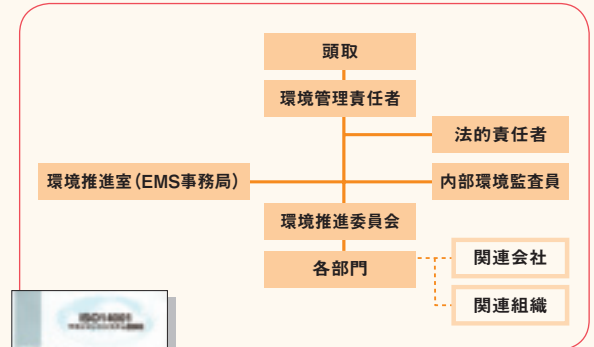
びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の維持と改善に努め、環境こだわり銀行として地域社会との共生を目指します。

【環境方針】

1. びわこ銀行は、地球温暖化防止など環境負荷の軽減を推進するエコリーダーバンクとして、環境保全に関するあらゆる商品・サービス・情報の提供など環境関連事業活動を積極的に展開し、環境保全活動の側面からも地域貢献を果たします。
2. 省資源、省エネルギー、グリーン購入など、環境に配慮した活動の実践により持続可能な社会の形成および汚染の予防に努めます。
3. 環境目的・目標を定めて、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 環境保全に関する法規則および、同意したその他要求事項を順守します。
5. 緑の森林(もり)づくり運動の支援や環境教育の啓発に努め、基本理念および環境方針の趣旨を従業員一人ひとりが理解・共有し、行動することにより地域との交流を図ります。
6. 環境方針は当行の環境保全に関する決意として、一般に公表します。

制定 平成12年 7月 5日 株式会社 びわこ銀行
改訂 平成20年 5月 1日 頭取 山田 智

環境マネジメント組織図



環境マネジメントシステム登録証
活動範囲:本店および事務センター
[JQA-EM1274]



平成20年3月、ISO14001定期審査を受審し、より高い目標を目指す当行の取り組みを評価いただきました。



環境目的および目標 (平成19年度)

環境目標	実績	評価	推進状況	
環境保全型・商品、情報の提供<環境銀行の運用>				
環境保全型商品	・エコ関連商品の開発	○	・優遇条件を適用 ・環境コベナント(特約)融資の取り扱い ・ガス利用、オール電化、太陽光発電設置、住宅性能基準とびわ湖材「地産材住宅」を優遇条件に取り入れ ・耐震リフォームローン取り扱い	
	・エコ関連情報の提供	○	・最新の環境情報を都度発信	
	・環境に配慮した頒布品の購入	○	・手提げ袋もエコ仕様になっています	
	・環境サポートローン、ISOサポートローン 取り組み ・エコサポート(保証協会付き・環境ローン)の取り組み	○		
ISOマネジメントシステムによる銀行業務の合理化および効率化				
—	・各部門の特色を生かした効率化、合理化につながる目標に取り組みました	—	・3R・3S活動、事務の合理化、時間効率活動など ・環境関連商品の開発 ・e-ラーニングを活用した環境教育の充実	
びわぎんエコオフィスづくり運動				
省エネ	・各部門は「運用基準」に基づく活動 (参考:平成16年度より運用管理) ・全体の電力使用量は170.0万Kwh	・「運用基準」に基づき実行 ・172.3万Kwh、前年比+4.2%	○ △	・各部門独自の運用基準を設定 ・不要時の消灯励行 ・省エネ機器への変更 ・パソコン定時ログオフ
	・「関西エコオフィス宣言」参加により「夏季省エネ(ノーネクタイ運動)」を展開	・本店および全店で展開	○	・「関西エコオフィス宣言」「滋賀チャレンジオフィス」お客さまにも呼びかけました
省資源 (ゼロエミッションへの挑戦)	・低公害車率の向上、87.5%以上	・91.3%、前年比+4.3%	○	・天然ガス車、バイオ燃料を導入、軽自動車導入率の向上
	・紙の使用削減、325.0万枚/年	・357.2万枚/年、前年比+9.2%	△	・両面印刷の推奨 ※特殊要因により前年対比は増加しました
	・廃棄物(焼却紙)の削減、4.5トン/年	・4.3トン、前年比△4.4%	○	・「ゴミゼロ大作戦」展開、シュレッダーごみをトイレットペーパーにリサイクル、ペットボトルキャップのリサイクル
グリーン購入	・紙のリサイクル率向上、94.0%	・94.7%、前年比+0.7ポイント	○	・「紙ゴミ削減運動」展開
	・特定商品のグリーン購入率95.0%	・96.5%、前年比+1.9ポイント	○	・特定調達品目および判断基準に基づき推進
緑の森林づくり運動の推進				
環境保全活動への支援	・びわぎん緑と水の基金への支援	・緑化推進、水環境保全、自主事業活動実施	○	・延べ11万7千本の苗木を寄贈
	・びわこボランティア活動への支援	・びわこ水源の森林づくり実施 ・「びわこの日」環境美化活動への参加	○	・びわこ地球市民の森(守山市)で500本植樹(ウメドキ、マンサクなど) ・琵琶湖の美化に積極的に参加